

自転車ガイドが伝える 文化的景観の魅力

— 地域を活かすサイクル・ツーリズムの可能性 —

平成28年度 北海道観光振興機構 地域観光活性化推進事業

CULTURAL LANDSCAPE X CYCLE TOURISM

CULTURAL LANDSCAPE X CYCLE TOURISM

SAPPORO



FUKUOKA

2016年11月10日(木) 15:00 → 17:30

セミナー後18:00より、懇親会を予定しております。

参加費

無料

開催
場所

一般財団法人 北海道開発協会 6階会議室
〒001-0011 札幌市北区北11条西2丁目2番17号セントラル札幌北ビル

近年、北海道でもサイクル・ツーリズムの取組が各地で盛り上がって来ており、自転車人口も増えています。しかし、地域独特の景観やその背景にある文化などをきちんと理解し、その魅力をしっかり伝えることのできる自転車ガイドはまだ不足しており、これから、さらにサイクル・ツーリズムを盛り上げるためにも、こうした地域の文化的景観をしっかりと伝えることのできる人材(自転車ガイド)を育成することが欠かせません。今回、自転車ガイドが地域の文化的景観の魅力伝えるサイクル・ツーリズムでの地域活性化に取り組んでいる、福岡のトレイルボックス代表の仲間 浩一氏をお招きし、これからの北海道におけるサイクル・ツーリズムの可能性についてご講演頂きます。

講師



Nakama Koichi

仲間 浩一 氏 [トレイルボックス (TRAILBUCKS) 代表]

1963年福岡県北九州市生まれ。

東京工業大学理工学研究科博士課程修了後、同大学助手として着任。その後、九州工業大学工学部教授を経て、'12年に同大学を退職し、TRAILBUCKS(トレイルボックス) 起業。現在に至る。

専門は、文化的景観地域でのツーリズム人材の育成ならびに観光と居住に関する支援活動。福津市(福岡県)都市計画審議会会長・景観審議会会長・景観アドバイザーなども務める。

風景通訳家。日本マウンテンバイク協会(JMA)公認B級インストラクター。

お問合せ・
お申込先

さっぽろサイクルラボ事務局

〒001-0011 札幌市北区北11条西2丁目2-17 セントラル札幌北ビル4F
(一社)シーニックバイウェイ支援センター内 TEL:011-708-0429 FAX:011-708-0430

お申込
詳細は
裏面で!

主催:さっぽろサイクルラボ

一般社団法人シーニックバイウェイ支援センター/NPO法人ポロクル/NPO法人エコ・モビリティ サッポロ/NPO法人ゆうらん/
SAPPORO BIKE PROJECT / NPO法人コンベンション札幌ネットワーク

自転車ガイドが伝える 文化的景観の魅力

— 地域を活かすサイクル・ツーリズムの可能性 —

お申込先

さっぽろサイクルラボ事務局

〒001-0011 札幌市北区北11条西2丁目2-17 セントラル札幌北ビル4F
(一社)シーニックバイウェイ支援センター内

TEL 011-708-0429

FAX 011-708-0430

E-mail picnic@sapporocyclelabo.jp

申込締切

11.7月

まで



参加申込書

下記のように申し込みます。

氏名(申込み代表者)

所属・役職

連絡先 〒

TEL

FAX

E-mail

参加者の氏名	セミナー 11月10日(木) 15時00分～ 出欠(どちらかに○記を付す)	懇親会 (会費:4,000円程度) 18時00分～ 出欠(どちらかに○記を付す)
	出席・欠席	出席・欠席

※ご記入いただいた個人情報は、さっぽろサイクルラボからの各種連絡・情報提供に使用させていただきます。